

授業科目	言語発達障害Ⅴ（援助法－各論）				
担当者	加藤義弘・ネグロンちひろ・中山清司				（オムニバス）
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

- ・加藤（第1回～第5回）は、言語コミュニケーション発達支援のための介入技法について学ぶ。発達障害を中心に、それぞれの障害特性や園や学校生活で困ることへの理解、検査結果の活用や支援の方法について学ぶ。
- ・ネグロン（第6回～第11回）は、① ABA の概念を使って教えることの基礎を学ぶ。そしてコミュニケーションの種類や定義について応用行動分析の視点から考える。②拡大・代替コミュニケーションの指導方法としての PECS[®] の初期のフェーズの教え方の手続きの基本を学ぶ。
- ・中山（第12回～第15回）は TEACCH を背景として、ASD 児者のライフステージやコミュニケーション支援、地域生活支援などを講義する。

■ 到達目標

- ・加藤（第1回～第5回）は、発達の観点から見た障害の知識や支援に対する基本的な考え方が理解できる。障害特性に応じた評価方法、介入技法や訓練教材を立案できる。
- ・ネグロン（第6回～第11回）：基礎的な ABA の用語の理解、PECS[®] の手続きやエラー修正について実施できる。
- ・障害特性に適した評価方法や介入技法、訓練教材を立案できる。

■ 授業計画

- 第1回 発達支援の基本（支援の必要性、支援方法、発達段階に即した支援内容、保護者支援など）（加藤）
- 第2回 障害特性に応じた支援①（注意欠如多動症・自閉スペクトラム症・限局性学習症への SST）（加藤）
- 第3回 障害特性に応じた支援②（注意欠如多動症・自閉スペクトラム症・限局性学習症への LST）（加藤）
- 第4回 障害特性に応じた支援③（特異的言語発達障害への指導と支援）（加藤）
- 第5回 障害特性に応じた支援④（限局性学習症の指導と支援・ICT の活用）（加藤）
- 第6回 ABA の概念・コミュニケーションを教える活動下（ネグロン）
- 第7回 ABA の概念・コミュニケーションについての概念・種類（ネグロン）
- 第8回 ABA の概念・指導についての知識（ネグロン）
- 第9回 PECS[®] 絵カード交換式コミュニケーションシステム①（ネグロン）
- 第10回 PECS[®] 絵カード交換式コミュニケーションシステム②（ネグロン）
- 第11回 PECS[®] とその他のコミュニケーション指導（ネグロン）
- 第12回 自閉症・発達障害の特性理解に基づく支援の基本（中山）
- 第13回 自閉症・発達障害の人への地域生活支援に関する事例検討（中山）
- 第14回 自閉症のコミュニケーションプログラムの開発（中山）
- 第15回 自閉症のコミュニケーションプログラムに関する事例検討（中山）

■ 評価方法

筆記試験 100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

各講義の前に言語発達障害Ⅱで学んだ発達障害の項目を復習しておくこと。また、言語発達障害のテキストにある応用行動分析、TEACCH の項目は一読しておくこと。

■ 教科書

書名：自閉症支援のためのレジュメ集2020年度版
著者名：中山清司
出版社：特定非営利活動法人 自閉症 e サービス

■ 参考図書

書名：言語聴覚士のための言語発達障害学第2版
著者名：石田宏代 石坂郁代 編
出版社：医歯薬出版株式会社

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。